

あ山なが るき城の

歴史トレッキングガイド

大倉城跡 トレッキング

堀切の規模は
県内最大級

標高
461m

S → 周回(約1時間)コース



S → 本郭往復(約30分)コース



①一の堀 ▶ 大きな堀が階段状に整備されている。手前にベンチがあるので休憩ポイントにどうぞ。



深い堀
※急な下り・登りが
つづくので注意!!



本郭からの景色



カタクリ



3~4台
※私有地のため
長時間の駐車はさけてください。



②二の郭 ▶ 下段と小さな上段に分かれている。



③本郭 ▶ 案内板や祠がある山頂からは、東側の眺望がよい。



④井戸郭 ▶ 本郭から一段低いところに、井戸の跡が残る。

大倉城跡について

戦国時代、長沼島津氏の詰城として機能した。川中島の合戦後廃城となるが、天正10年(1582)武田氏滅亡後、川中島四郡を支配した織田信長の家臣森長可に対して、上杉景勝と手を組んだ芋川荘(現飯綱町芋川)の芋川親正を大将とした一揆が抵抗、大倉古城を修築して籠城した。『信長公記』によると、激戦の末に1,250余人が城外で討ち取られて落城し、城内に残っていた女性や子ども1,000人余りが虐殺されたという悲劇の舞台。尾根上に郭を連続配置し、堀切によって防護しており、堀切の規模は県内最大級である。

アクセスマップ



長時間駐車する場合はここからスタート ※正面入り口まで徒歩約40分

ながの山城あるき
トレッキングガイド
WEBサイトはこちら

